

WAMは福祉と医療の民間活動を応援します

令和8年7月3日
独立行政法人福祉医療機構
経営サポートセンター長 佐野 伸
経営サポートセンター
リサーチグループリーダー 緒方 武虎
担当 田原春・菅野（電話）03-3438-9932
（FAX）03-3438-0371

社会福祉法人経営動向調査（2026年6月）の結果について

独立行政法人福祉医療機構では、四半期毎（3月、6月、9月、12月）に社会福祉法人経営動向調査を実施しています。今回は2026年6月に実施した本調査の結果についてご報告します。

詳細はホームページ(<https://www.wam.go.jp/hp/sh-survey/>)に掲載しております。

1. 調査の概要

- 対象：特別養護老人ホーム（以下「特養」という。）を運営する社会福祉法人531法人
- 調査事項：社会福祉法人および特養の業況、資金繰り、従事者数等に関する現在の状況と3ヶ月後の先行き予測、業務委託費の状況等
- 回答数：351
- 有効回答数：351
- 有効回答率：66.1%
- 実施期間：2026年6月1日（月）～2026年6月22日（月）
- 実施方法：Web上で実施
- 集計方法：DI（景気変動を判断するための指標。各項目の第1選択肢の回答割合から第3選択肢の回答割合を差し引いて算出）に加工・集計して公表

2. 調査の結果

【社会福祉法人の動向】

- 業況のDIは、前回調査から12%ポイント上昇し、1となった。
- サービス活動収益のDIは、前回調査から18%ポイント上昇し、3となった。
- 資金繰りのDIは、前回調査から4%ポイント上昇し、△17となった。
- 従業員数のDIは、前回調査から4%ポイント上昇し、△58となった。
- 経営上の課題として「人件費の増加」を挙げた法人は、前回調査から4.6%ポイント減少し、65.5%となった。
（P.8「3-1 社会福祉法人全体」を参照）

【特養の動向】

- サービス活動収益のDIは、前回調査から10%ポイント上昇し、△5となった。
- サービス活動収支（黒字・赤字）のDIは、前回調査から1%ポイント上昇し、1となった。
- 施設全体の従業員数のDIは、前回調査から3%ポイント上昇し、△54となった。

【その他】

- 2025年度のサービス活動収益は、前年度（2024年度）比で増加した施設が19.9%、減少した施設が16.0%となった。また、サービス活動増減差額は、増加した施設が26.3%、減少した施設が31.4%となった
- 2021年度比で2025年度の業務委託費の変化幅をみると、「業務委託費（全体）」は73.2%の施設で増加しており、「30%以上増」の施設が19.1%と最も多かった

以上